

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 市民会館バリアフリー改修事業
-------------------	-----------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	3	障害者福祉の確立
小分類	2	障害者（児）の自立促進
主要な施策	6	生活環境の整備
事務事業番号	004	事務事業コード 13326004 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	市民会館バリアフリー改修事業費
------	------	------------	-----------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください）</p> 市民会館の利用者
手段（事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください）</p> 市民会館の玄関、大ホール、トイレを以下のとおり改修する。 ・玄関 正面玄関スロープ付近のタイルに人工芝を敷設し、滑りによる転倒を防止する。 ・大ホール 通常席を一部撤去し、車椅子スペースを増設する。 ・トイレ 身障用トイレのない2階の男女トイレに車椅子や介助スペースを確保したブースを設置。また、1階男女トイレにベビーチェアを設置。
目指す姿（成果）	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください）</p> 市の主要な集会施設である市民会館のバリアフリー化を進めることにより、ご年配の方や障がいを持った方、車椅子を利用の方が利用しやすい環境を整える。
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください）</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標		人	目標値	87,000				
			実績値	85,578				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称 地域活性化・経済危機対策臨時交付金	千円	3,381					0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1					0
合 計				3,382	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	231	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		231	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後各市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？
多くの市民が利用する施設であり、不具合箇所の修繕も含め、利用しやすい環境を整えることが必要である。			
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？
今回の改修により、車椅子に乗ったまま観覧できるスペースが増えたことや、2階利用者についても、1階まで降りることなく、トイレに行くことができるようになった。			
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？
今後についても、ニーズにあった整備を進めていくことにより、利用しやすい環境を確保できる。			
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？
施設の老朽化が進んでいるため、簡易補修では対応しきれない箇所も増加している。今後の整備については、最低限の部分補修・追加だけでなく、将来を見据えた施工が必要であることから、コストの削減は難しい。			

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	本事業は交付金措置であることから終了となるが、今後についても、不具合箇所の早期発見や、利用しやすい施設の維持管理に努める。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）